

# 「横尾忠則 寒山百得」展

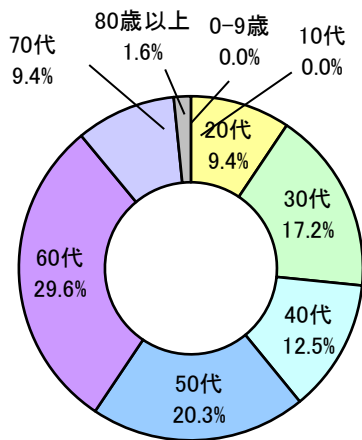
## アンケート集計結果

開催期間：令和5年9月12日（火）～12月3日（日）（会期日数：72日）

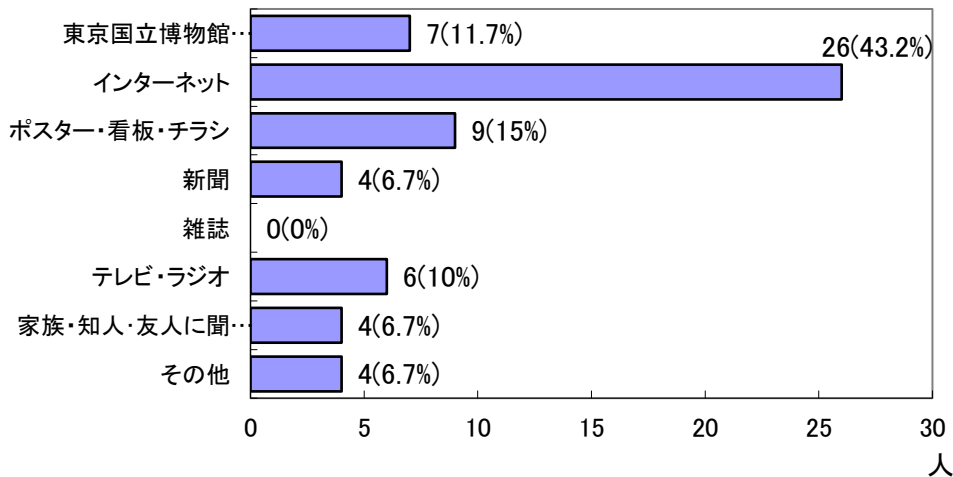
総入館者数：47,719人

回答者数：65人

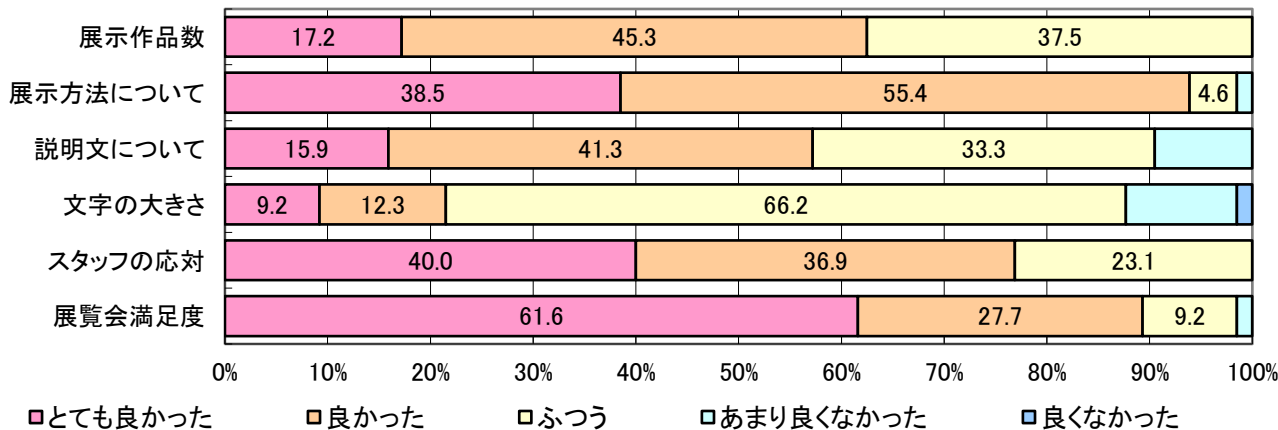
### ① アンケート回答年齢層



### ② 認知経路（複数回答）



### ③ 展示に関する満足度



### ④ 主な意見・感想

- ・作品数が多くてよかった
- ・表慶館の建物と横尾作品のバランスが面白かった
- ・順路が分かりづらい
- ・解説がもっと欲しい

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	0.0	0.0
展示方法	1.5	0.0
説明文	9.5	0.0
文字サイズ	10.8	1.5
スタッフの対応	0.0	0.0
展覧会の満足度	1.5	0.0

(%)

本展は、現代美術家・横尾忠則が、寒山拾得を独自の解釈で再構築した「寒山拾得」シリーズの完全新作102点を一挙初公開したものです。このシリーズは、寒山と拾得という、中国、唐の時代に生きた伝説的な2人の詩僧をテーマとしたものです。彼らはその奇行ぶりから「風狂」ととらえられ、日本、中国では伝統的な画題となりました。

本展を観覧された89.3%の方から、「とても良かった」「良かった」との評価をいただきました。

また、本館では特集「東京国立博物館の寒山拾得図－伝説の風狂僧への憧れ－」を開催したことあり、他の特別展のアンケート結果と比較して、同日に総合文化展もご覧になった方の割合が高い傾向にありました。本館の総合文化展への誘客にも繋がるなど、表慶館における展覧会開催の成果が表れたと言えます。

一方で、観覧にあたり、「順路が分かりづらい」とのご意見もいただきました。展示環境を維持しながら、観覧のサポートとなる案内板の設置などを、今後の展覧会では検討してまいります。

今回頂いたアンケート結果・感想などをもとに、引き続き来館者サービスの向上に努めてまいります。